

薬学部アドミッション・ポリシー (R3.2.15 修正版)

【学部の理念】

北海道大学薬学部は、薬学を、有機化学、生物化学および物理化学を基礎として、生命科学、創薬科学および医療薬学を総合的に研究し、その成果を研究活動または医療現場における薬剤師としての活動等を通して、国民の福祉に貢献し、医療へ還元する学問であると考えている。このため、北海道大学薬学部は、4年制の薬科学科と6年制の薬学科を設置し、それぞれ、生命科学、創薬科学の研究者の養成および研究心豊かな先導的薬剤師、医療薬学者の養成を目的としている。

【教育目標】

人文・社会的な素養を修得するとともに、生命現象や生命体の仕組み、分子の性質・分子間相互作用の理解、化合物の構造解析や合成法等の基礎を、生物化学、物理化学、有機化学を通して学修する。2年次第1学期からは2学科に分かれ、上記理念で述べた学科の目標に従って教育が行われる。すなわち、薬科学科では、生物化学、有機化学、物理化学を基礎として、分子・細胞から個体レベルにわたるライフサイエンスを統一的に学修し、知識や技術の修得を行う。1.5年間の卒業研究および演習によって、研究遂行能力とともに、思考力・判断力・表現力の育成、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の育成を行う。

薬学科では、医療科学、健康科学の知識や理論を統一的に学ぶとともに、医療薬学、臨床薬学に関する高度な知識や技術の修得を行う。さらに、22週（病院11週＋薬局11週）の実務実習、1.5年間の卒業研究を通して、倫理観、コミュニケーション力、責任感を持ち、主体性を持って多様な人々と協働しながら問題発見能力、問題解決能力を発揮する薬剤師ないし医療薬学・臨床薬学者になるための教育を展開する。

【求める学生像】

本学部のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学前に以下のような多様な能力を身につけてきた学生を求めています。

薬科学科

- (1) 高等学校卒業レベルの数学、英語、国語の基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に理科に高い学力を有する人
- (2) 生命科学や創薬科学の研究または医療薬学や医療薬学研究を通じて社会に貢献したいと考えている学生
- (3) 大学院に進学して最先端の創薬科学を学び、国際的にも活躍できる創薬研究者・技術者を志す人

薬学科

- (1) 高等学校卒業レベルの数学、英語、国語の基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に理科に高い学力を有する人
- (2) 医療現場や医療薬学教育の場において、先導的な薬剤師・教育者として活躍したいと考えている学生
- (3) 高度な知識と技術を身につけ、チーム医療の中で科学的観点から意見が言える専門性の高い薬剤師を志す人

なお、入学前に学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

入学後に、生命科学、創薬科学、医療科学に関する基礎的知識、技能及び態度を修得するために、高等学校段階での基本的な学力を幅広くきちんと身につけておく必要があります。特に数学・英語・理科の高い学力の修得に励むことを求めます。

後期日程、帰国子女入試、私費外国人留学生入試のねらい

一般選抜（後期日程）

大学入学共通テストによって基礎的学力をみるとともに、個別学力検査では理科のみを課し、物理・化学・生物のうちから2科目を選択させ、理科についての広範な理解力を評価する。

帰国子女入試

第1次選考では資格・成績証明書等、推薦書、自己推薦書により選考を行う。第1次選考に合格した者に対して、総合問題を課し、基礎的な科学的知識、論理的思考力、語学力を問うとともに、面接によって意欲、目的意識、積極性、論理性を問う。

私費外国人留学生入試

第1次選考では出願書類により選考を行う。第2次選考の実施科目等、日本留学試験及び最終修了学校の成績証明書等の結果を総合して選考を行う。